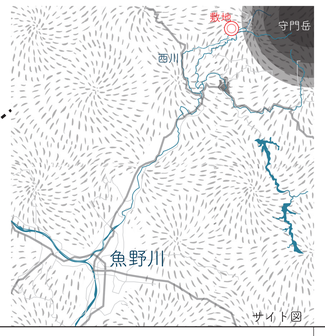
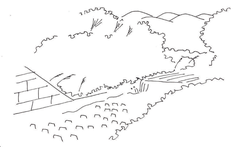
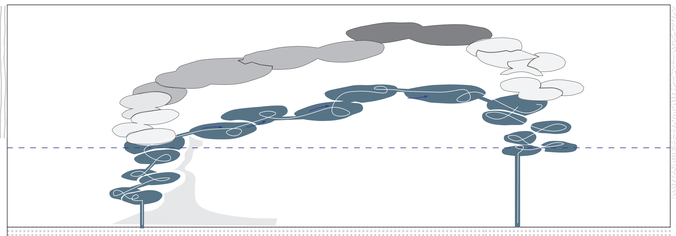
車で施設を訪れる



新潟県魚沼市高倉
県道 347 号線沿いに流れる西川にまたがる橋横の敷地。
ここは自然好き、魚好き、謎解き好き、学ぶことが
好きな人が車で訪れる環境教育施設＋養魚場だ。
学生や研究者から、一般のお客さんまであらゆる人が
好きなように施設を利用する。

施設を訪れた人は
まず、魚沼の山々と川を目にする



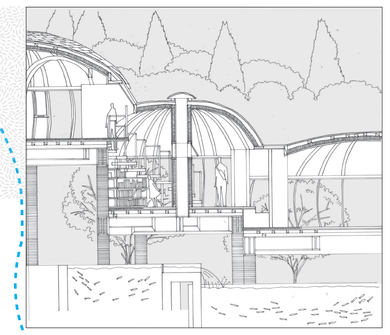


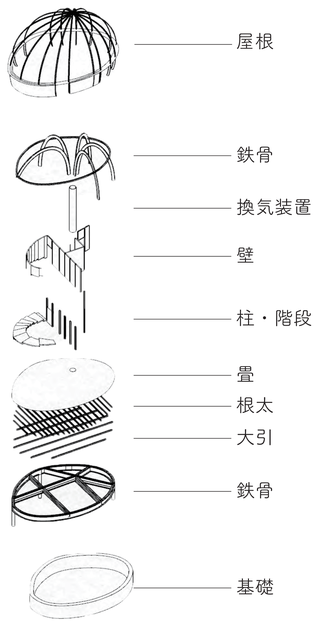
その自然に溶け込むように、施設が見えてくる。木々が音をたて、水が流れる音がする、・・・・・

さあ、靴を脱いで施設に入ろう

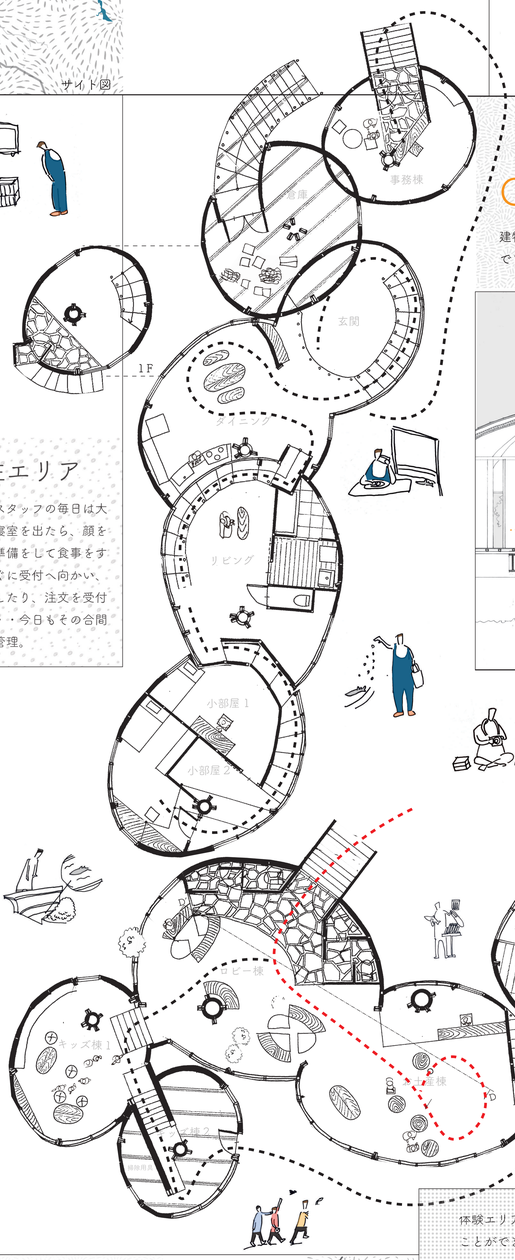
床が畳になっているな・・・

Code 02





構造図



居住エリア

養魚場スタッフの毎日は大忙し。寝室を出たら、顔を洗い、準備をして食事をする。すぐに受付へ向かい、出荷をしたり、注文を受けたり・・・今日もその合間で魚の管理。

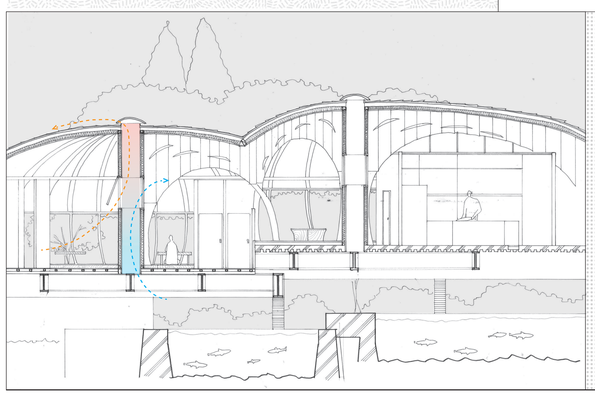
Code 07

建物の中心に筒状の壁がある。これは室内の換気や温度を調整する設備なんだって、
でもなぜ真ん中にあるんだろう？

観察エリア

窓の外に目を向ると、外の自然が目に入る
もう少し、近づいて見ると、底で上が見えにくい・・・
下はどうだろう？あ、魚が泳いでいる！

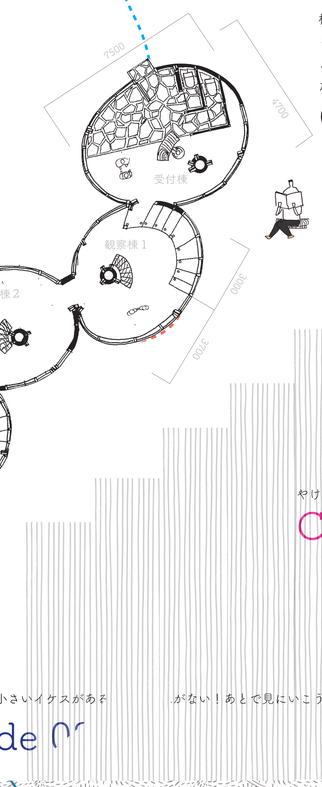
Code 01



体験エリア

ここからは水揚げと食事ができるエリアになっているんだって。建物が少し大きくなったね。　イケスを泳いでいる魚も大きくなった！

Code 05



柱にトドマツの化粧板が貼られている・・
よく見ると不思議な形の柱だな～

Code 03

やけに階段多いな～

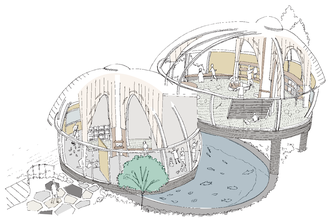
Code 04

あそこに小さいイケスがあ　　がない！あとで見にいこう！

Code 0

Code 09

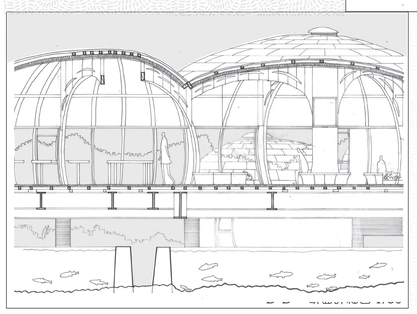
イケスの中にたくさん木の
葉が落ちている・・・
取らなくて大丈夫なのかな～



キッズ棟　アクソメパース

キッズ棟 1・2

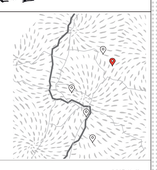
棟の外で鬼ごっこをしない？あ、やっぱりさ、他の子たちがキッズ棟に植物や石を持っていって何か作っていたから、僕たちも持っていって、何か作ろうよ！



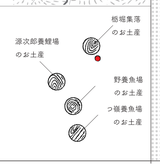
ロビー・お土産棟

たくさん歩いたから、ロビーでひと休みしよう。
お土産も売っているみたい！
施設内で考えたこと、学んだことを友達や家族にも教えてあげようかな～

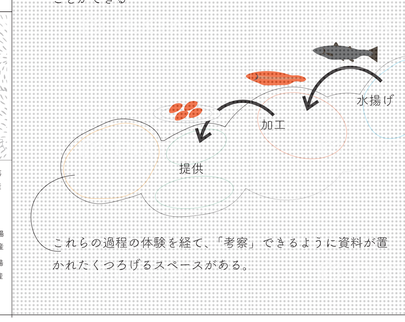
右の地図は上から
・栃堀集落
・この施設
・源次郎養鱒場
・高野養魚場
・八ツ宿養魚場
になっており、この施設が建てられる際にヒントになった場所である。



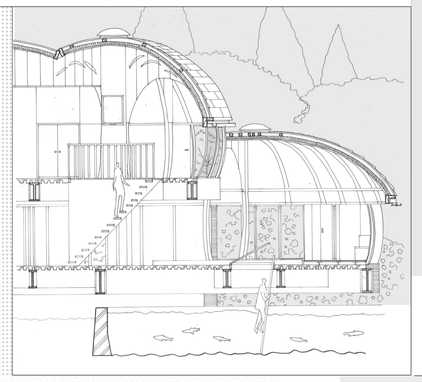
設計した施設の位置を赤とし、施設からの位置関係を机の位置に反映させた。
それぞれの場所のお土産を作って置く。



体験エリアでは養魚場で育てられた魚の一生を身を持って知ることができる

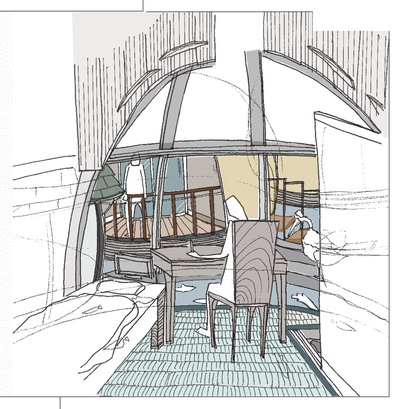


これらの過程の体験を経て、「考察」できるように資料が置かれたくつろげるスペースがある。



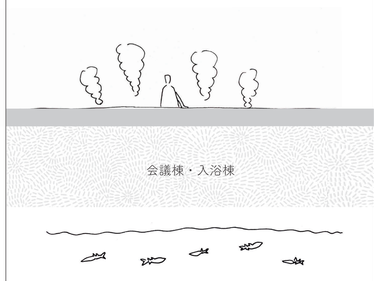
宿泊エリア

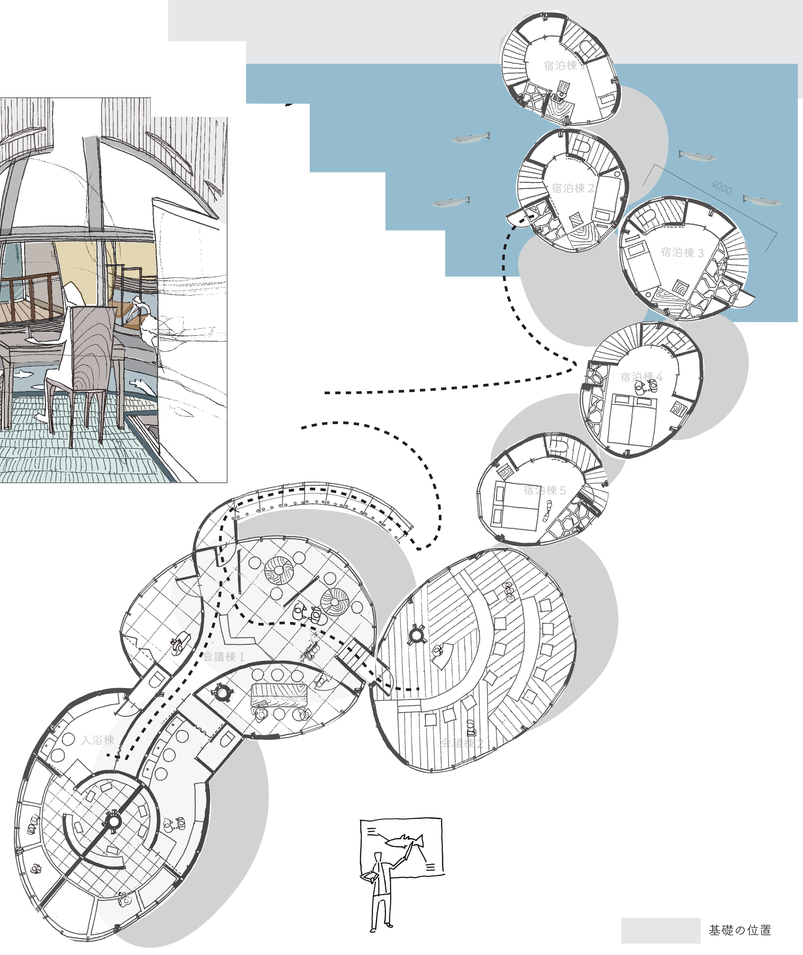
泊まりがけで、魚の生態を調査しよう。橋を渡ると、宿泊棟がたくさん見えてきた・・・
部屋に到着！
イワナを観察しながら階段登ったら、全く疲れなかったな～



そういえば、宿泊棟に泊まる人は銭湯を利用できるって受付の人が言っていたな～。

わ！窓から西川と山の景色が綺麗に見える。
今日一日で得たことを振り返るのに最適だ～。





別棟　平面図 1/65